

SUNOCO TEAM LEMANS *#7 SUNOCO TEAM LEMANS SF14* *#8 SUNOCO TEAM LEMANS SF14*

2017年 SUPER FORMULA シリーズ
第2戦(岡山国際サーキット)レースレポート



SHOWA
BRAKE FLUID

LHG
Legarsil-Hydrogen Generator

MAEDA
SHELL SERVICE / GIKEN

Owltech

JOTO DIRECT

熊谷組

DAIDO
大同基礎工業株式会社

mda
Mitsui Design Architects & Associates



ニチネン

SKINS

EVES

sparco

MAKE
WINNER
DEDICATED RACING SUIT CLEANING

制御盤三笠

広島化成株式会社
HIROSHIMA KASEI, LTD.

YOKOHAMA

大会概要

2017年 全日本 スーパーフォーミュラ 選手権 第2戦

大会名称

2017年 全日本 スーパーフォーミュラ 選手権 第2戦 岡山国際サーキット

開催日時

5月27日 土曜日(レース1 予選&決勝) 5月28日 日曜日(レース2 予選&決勝)

開催サーキット

岡山国際サーキット(1周 3.703km) 住所:岡山県美作市滝宮1210

同時開催レースカテゴリー

- ・2017年 全日本フォーミュラ3選手権 第8戦&第9戦
- ・2017 N-ONE OWNER'S CUP Rd.7
- ・ロードスター パーティレースIII 西日本シリーズ第2戦

主催

株式会社 岡山国際サーキット / アイダクラブ(AC)

公認

国際自動車連盟(FIA)/ 一般社団法人日本自動車連盟(JAF)

認定

株式会社日本レースプロモーション(JRP)/ 日本フォーミュラスリー協会(JF3A) / Hondaワンメイクレース事務局(HORS)

後援

岡山県 / 美作市 / 岡山県観光連盟 / 美作国観光連盟 / 岡山県経済団体連絡協議会 / 岡山県商工会議所連合会
岡山県経営者協会 / 一般社団法人岡山経済同友会 / 岡山県中小企業団体中央会 / 岡山県商工会連合会 / 山陽新聞社

SUNOCO TEAM LEMANS 参戦体制

#7 SUNOCO TEAM LEMANS SF14

ドライバー:フェリックス・ローゼンクヴィスト

出身地:スウェーデン

生年月日:1991年11月7日

身長:169cm

体重:70kg

血液型:O型



エントラント代表:土沼 広芳

監督:片岡 龍也

チーフエンジニア:中村 成人

チーフメカニック:甲賀 大毅

#8 SUNOCO TEAM LEMANS SF14

ドライバー:大嶋和也

出身地:群馬県

生年月日:1987年4月30日

身長:170cm

体重:62kg

血液型:A型



エントラント代表:土沼 広芳

監督:片岡 龍也

チーフエンジニア:大久保 健

チーフメカニック:小倉 啓悟

レース情報

レース1 (5月27日) 予選&決勝

天気: 晴れ~曇り / コース状況: ドライ
気温: 23度 / 路温: 31度 (決勝開始前)
予選開始: 10時30分
決勝フォーメーションスタート: 15時30分
決勝レース周回数: 30周



全日本スーパーフォーミュラ選手権の第2戦は岡山国際サーキットが舞台。ツイスティでテクニカルなレイアウトのコースでの戦いとなる。前戦鈴鹿では上位入賞こそ成らずも、新体制で臨むシーズンへの手応えを増すかたちで今季初戦を終えたSUNOCO TEAM LEMANS。過去2年で2度の表彰台獲得がある岡山で、その感触にさらなる上積みをしたいところだ。今回は土・日個別に予選&決勝がある2レース制。まずは土曜の「レース1」、20分間の1セッション予選と30周・約110kmのスプリント決勝レースがドライコンディションのもとで行なわれた。

#7 SUNOCO TEAM LEMANS SF14

フェリックス・ローゼンクヴィスト選手

予選結果: 14位 (予選ベストタイム: 1分14秒434)

決勝結果: 12位 (所要時間: 38分31秒649、ベストラップ: 1分15秒072 = 全体ファステストラップ)

岡山でのスーパーフォーミュラ実戦は初めてのローゼンクヴィストだが、土曜朝のフリー走行では1分14秒059でトップタイムをマーク、F3マカオGPで2勝の実力を見せつける。しかし予選では前走車に詰まってスピンを喫するなどして苦闘、14位に甘んじてしまった。決勝では1周目に12位へ浮上。そのままの順位でゴールを迎えるが、決勝レース中の全体ファステストラップを記録する速さを見せた。

#8 SUNOCO TEAM LEMANS SF14

大嶋和也選手

予選結果: 17位 (予選ベストタイム: 1分14秒839)

決勝結果: 15位 (所要時間: 38分38秒846、ベストラップ: 1分16秒046)

大嶋も前日の金曜フリー走行で5番手タイムをマークするなど、フル参戦復帰初年度ながら、徐々に存在感を発揮し始めている。ただ、この日の予選では17位、厳しいポジションから決勝を戦うことに。ローゼンクヴィスト同様、1周目に2つ順位を上げて15番手。しかし、抜けないコースでのスプリント戦では追上げも難しく、大嶋は15位で走行を続けてチェッカーフラッグを受けることとなった。

レース情報

レース2 (5月28日) 予選&決勝

天気: 晴れ / コース状況: ドライ
気温: 27度 / 路温: 41度 (決勝開始前)
予選開始: 9時20分
決勝フォーメーションスタート: 14時25分
決勝レース周回数: 51周



日曜の「レース2」は、Q1～Q2という2段階ノックアウト方式の予選と、51周・約190kmの中距離レースとなる。路面はこの日もドライ。レース2の決勝では、ドライタイヤでスタートした場合に4輪タイヤ交換が義務づけられるため、戦略もレース展開を左右することになる。

#7 SUNOCO TEAM LEMANS SF14

フェリックス・ローゼンクヴィスト選手

予選結果: 15位 (予選Q1ベストタイム: 1分14秒959)

決勝結果: 4位 (所要時間: 1時間09分06秒227、ベストラップ: 1分16秒104)

19台中10台が通過となる予選Q1は終了1分前に赤旗中断があり、残り2分30秒で再開というイレギュラーな展開のなかで無念の15位。前日より暑くなった状況下での決勝は、予想通り、タイヤ交換をレースが進んでから行なうグループと、早めに済ませる組とに2極化する。タイヤ交換を後ろに引っ張ったローゼンクヴィストは、見た目の順位を上げるだけでなく、好ペースで実質の順位もどんどん上げていった。レース後半、コース上の先頭に躍り出た段階では4位前後が見える状況に。そして後方のアクシデントでセーフティカーが出たタイミング、39周終了時にタイヤ交換を済ませ、4位でコース復帰する。セーフティカー撤収後の終盤、フレッシュなタイヤを得たローゼンクヴィストは前を走る36号車を攻めたが、これを抜くに至らず。しかしながら11台抜ききの4位でチェッカーを受け、チームに今季初入賞をもたらした。

#8 SUNOCO TEAM LEMANS SF14

大嶋和也選手

予選結果: 8位 (予選Q2ベストタイム: 1分14秒585)

決勝結果: 12位 (所要時間: 1時間09分22秒055、ベストラップ: 1分17秒003)

予選Q1、大嶋は赤旗中断前の時点で4位。再開後に6位へと順位は下がるが、Q2進出を果たした。そしてそのQ2では8番グリッドを獲得。7位とは0.001秒、6位とも0.002秒という極小差であったことが惜しまれるところだが、今季初ポイントを、そして表彰台をも狙える位置だ。大嶋は1周目タイヤ交換の戦略で決勝へ。しかし、スタートが良くなかったこともあり、中団でのレース運びから12位でのゴールとなった。

レース情報

フェリックス・ローゼンクヴィスト選手のコメント

レースウィークを通じてマシンの状態は良かったです。ただ、予選では土曜も日曜も前のクルマに阻まれる格好になったり、赤旗が出たりで、満足なアタックができませんでした。抜くのが難しいコースですから、土曜のレース1はああいっただ展開のまま終わってしまったわけです。レース2では、とにかく皆と異なる戦略を採って、浮上を狙いました。実際にメリットはありましたし、ペースもライバルたちより速かったですね。惜しくも表彰台は得られませんでした。4位初入賞という結果はハッピーです。次の富士戦でもいい走りができるよう、引き続き頑張ります。

大嶋和也選手のコメント

土曜の予選ではクリアラップが取れず、決勝でもペースがあまり良くなかったですね。ただ、日曜は予選を含めていい方向にいきましてし、単独で走った時のレースペースもだいぶ良くなりました。おそらく今は大半のドライバーが、前に別のクルマがいなければ速く走れる、そういう状況だと思いますので、やはり予選でもっと前にいることが重要です。それとスタートにも(マシン調整を含めた)課題がありますね。次の富士は開幕前のテストでいいところも感じられたコースですので、このまま調子を上げていけば、もっといいレースができると思います。

片岡龍也監督のコメント

ローゼンクヴィストに関しては、土曜も日曜も予選ではクリアな状況でまともにアタックさせてもらえませんでした。速いドライバーですし、今週末のマシンの出来を含めたところでもかなりの速さを有していたことは間違いのないと思います。ですから日曜のレース2決勝は、とにかくフレキシブルに、他の逆をいく戦略で戦いました。なるべく周りにマシンがない状況で、彼の速さを活かしたかったのが狙いです。狙いはほぼ機能しましたし、セーフティカーに関しても、戻った順位という意味ではイーブン、得も損もなかったということだと考えています。

大嶋も日曜の予選ではあと0.1秒で4位というところまで来ていました。ただ、スタートが良くなかったことと、彼の場合は1周目タイヤ交換作戦を決め打ちでいったのですが、結果的には集団に埋もれてしまいましたね。でも、決勝でのマシンのフィーリングはわるくなかったようですので、次につながる内容は得られたと思います。

次の富士でもチーム全体でこのいい感じを持続していき、今回取り逃した表彰台をなんとか取り返したいですね。応援よろしくお願いします。

シリーズランキング

フェリックス・ローゼンクヴィスト : 10位 / 2.5ポイント
大嶋和也 : 一位 / 0ポイント

チーム(#7+#8) : 8位 / 2.5ポイント

観客動員数

開催期間中 延べ入場者数 約18,100人

5月27日 土曜日(レース1、天気:晴れ~曇り)7,100人 5月28日 日曜日(レース2、天気:晴れ)11,000人

イベントへの参加報告

ピットウォーク

開催日程:5月27日 11:45~12:25

5月28日 11:40~12:30

キッズウォーク

開催日程:5月27日 17:20~18:00

主催:日本レースプロモーション、岡山国際サーキット

参加者:F.ローゼンクヴィスト、大嶋和也

ピットロード開放エリアにて握手&サイン会、撮影会、グッズ提供を行い、沢山のお客様をお迎えすることが出来ました。

また、キッズウォークではお子様を対象に握手&サイン会、キッズ限定グッズなどの提供を行いました。

グリッドウォーク

決勝レース前に実施。

TOYOTAイベント広場

SF13 搭乗体験

